

【重点分野－2】2023 春季生活闘争 第 5 回戦術委員会 確認事項

連合は本日、2023春季生活闘争の第5回戦術委員会を開催し、現時点の交渉状況を把握するとともに、ヤマ場における回答引き出しを含め今後の進め方について以下の通り確認した。

I. 今後の進め方について

1. 組合員および社会の期待に応えるべく、要求趣旨に沿った回答引き出しに向けて以下の点を強く主張し、最後の最後まで粘り強く交渉を迫り上げる。
 - ・賃上げによって、働く仲間の生活の安心・安定を確保すること、頑張りに報い働きがいを持続・向上させること、人材の確保・定着をはかることなどが必要である。
 - ・大幅な物価上昇が続く中で、賃金が物価に追いつかない状況が長く続けば内需の6割を占める個人消費が落ち込み、世界経済の減速とあいまって深刻な不況を招く恐れがある。物価を上回る可処分所得増を確保する必要がある。
 - ・中小企業労働者および有期・短時間・契約等で働く労働者を含め、これまで以上にすべての働く者の月例賃金の改善と「人への投資」にこだわった交渉を粘り強く進め、最大限の回答を引き出し、賃上げの社会的広がりを拡大していくことが、我々の責務である。
2. 先行組合が引き出した回答を最大限活かし切り、後に続く組合の交渉環境を維持するため、次の対応をはかる。とりわけ、賃上げの世論醸成に向けて積極的な情報発信などに取り組む。

〈構成組織・組合〉

- ・先行して回答を引き出した組合は、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の観点から、グループや関係する会社の交渉環境が担保されるよう、経営者に対して最大限の配慮を求める。
- ・構成組織は、諸要求に対する回答内容を速やかに連合に報告するとともに、その後続く中小組合の最大限の回答引き出し・早期解決に向けてサポートする。

〈連合本部〉

- ・先行組合回答ゾーン（3月13～17日：ヤマ場14～16日）期間中、以下のとおり情報発信を行い、各組合の交渉を後押しする。

3月 15日	連合金属共闘連絡会議・金属労協 合同記者会見
16日	ヤマ場の回答引き出し状況に関する中央闘争委員長コメント
17日	第1回集計結果（先行組合回答ゾーン）公表および共闘連絡会議合同記者会見

〈地方連合会〉

- ・地場共闘の回答結果を速やかに公表し、地場相場の形成に努める。
- ・「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に向けた連合本部・構成組織の取り組みを、地域の関係者と共有し、展開に努める。

以 上

回答集計結果等公表の日程

2023年 3月 14-16日	ヤマ場「回答速報」公表	(中核組合中心)
17日	第1回回答集計結果公表	(先行組合回答ゾーン)
24日	第2回回答集計結果公表	(3月月内決着回答ゾーン《前半》)
4月 5日	第3回回答集計結果公表	(3月月内決着回答ゾーン《後半》)

※ 機関会議・諸行動の日程は、第4回中央闘争委員会確認事項(3月3日)参照